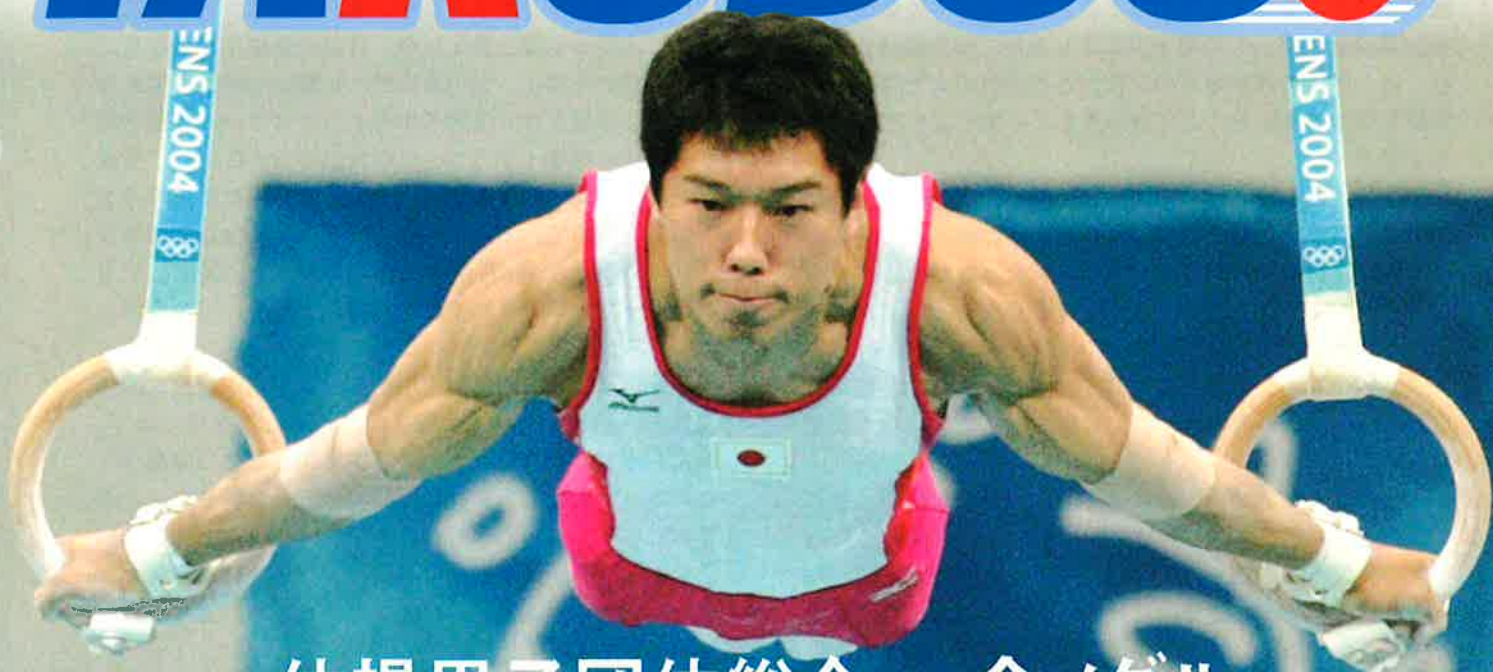


第50号発刊記念

(財)静岡市体育協会だより

YAKUDOU

躍動



体操男子団体総合 金メダル 聖地アテネで羽ばたく水鳥寿思選手

日本の弱点であるつり輪で、力強く安定した演技を披露。
金メダル獲得に大きく貢献した。



(AFP=時事)

女子バスケットボール日本代表
永田睦子選手(上)
江口真紀選手(右)

1次リーグ1勝4敗 10位



(EPA=時事)



(時事)

女性初の馬術障害飛越
五輪代表 渡辺祐香選手

初の五輪で決勝進出 39位

(時事)

ATHENS 2004



財団法人静岡市体育協会
会長 川村 修

あいさつ

この度、財団法人静岡市体育協会会長に就任し、運営に携わることになりました川村でございます。当協会は、昭和23年発足以来、57年目を迎えましたが、宗知信前会長をはじめ、多くの諸先輩方のご努力とご尽力により輝かしい実績を築かれましたことに對しまして、衷心より敬意を表す次第です。

戦後の混乱期から幾多の社会的変遷をたどる中で、人々の価値観が多様化し、物の豊かさから心の豊かさを求め合い、自由に信条や個性を主張できる時代となりました。そして、21世紀に入り、社会の国際化や高度情報化、あるいは、高度科学化などが急速に進む一方で、環境や健康問題、少子高齢化問題、余暇活動やコミュニティ問題など様々な市民生活に関係した事柄が、以前にも増して重要視されてきました。

このような社会情勢の中にあって、市民の皆様が、スポーツ活動を通じて、スポーツの持つ爽快感、仲間との交流の喜びや連帯感、自らの技術向上への達成感や満足感、心身の健康保持増進など幅広く体験され、高度で複雑化された現代社会において、市民生活が活気と意欲に満ちたものとなりますように心から願っております。

そこで、市民の皆様のご要望に応えるための主な事業を挙げますと、各種スポーツ大会への支援や、ジュニア層の拡大と育成をめざす実技講習会、県民スポーツ祭壮行会、スポーツ講演会などがあります。また、当協会は、平成元年財団法人として設立発足以来、行政の皆様にも絶大なご支援とご協力を得て、現在8スポーツ施設の管理運営を行い、この各施設では、夜間を中心としたスポーツ教室を開催し、市民の健康・体力づくりの推進を行うことで、生涯スポーツの普及・振興を図り、多方面にわたる市民のスポーツ活動を進めています。そして現在、当協会加盟団体は43団体を数え、来年4月には清水体育協会と大同団結することになっており、それぞれの加盟団体においても合併をお願いしているところであります。

今後、当協会は、新役員を中心として静岡市行政・関係諸団体・関係者など多くの皆様のご理解とご支援により、以前にも増して充実発展させ、静岡市民のための健康づくりとスポーツの普及・振興と競技力の向上を図りたいと考えております。そして、時代の先端を行くより充実した体育協会として進歩発展させ、市民の皆様の信頼に応えられる確かな運営に邁進する所存であることを申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

平成16・17年度 新役員

〈会 長〉	川村 修
〈副 会 長〉	増田正史／安齊悦雄
〈専務理事〉	大村吉正
〈常務理事〉	浅野 修
〈理 事〉	山中崇弘／齊藤千代子／大野哲裕／熊王 進／千原園一／西畑 武／渡邊武利／落合 徹／沼本 脩 柳澤 學／太田義郎／浅場 武／松村吉郎／藤原 林／鈴木 靖
〈監 事〉	金田富士夫／酒井 暉／鈴木英次

〈評 議 員〉

中原 明 (弓道連盟)	小澤喜久雄 (野球連盟)	浅川やゑ美 (馬術連盟)
小澤 一彦 (剣道連盟)	亀山 正敏 (ラグビーフットボール協会)	加藤 昇 (合気道連盟)
松永 義夫 (山岳連盟)	石野 吟策 (陸上競技協会)	洞口 均 (少林寺拳法協会)
田畑 博央 (クレイ射撃協会)	岡田 辰巳 (ソフトボール協会)	入山 務 (ハンドボール協会)
納谷 義郎 (サッカー協会)	池田美恵子 (フォークダンス協会)	萩原 祥古 (ボウリング連盟)
田中 秀幸 (柔道連盟)	津金 敬三 (スケート協会)	庄野 紀子 (なぎなた連盟)
杉原 正洋 (水泳協会)	大橋 勝 (自転車競技連盟)	内海喜代治 (ゲートボール協会)
明峰 達夫 (スキー協会)	川村 泰男 (体操協会)	千代 和年 (ゴルフ連盟)
細倉 凉太 (相撲連盟)	松浦 順大 (パワーリフティング協会)	海野 弘美 (トランポリン協会)
山田 誠 (卓球協会)	寺田 雄司 (体育ボクシング協会)	溝口 稔 (アマチュアダンススポーツ協会)
落合 敏男 (ソフトテニス協会)	松井 平造 (ラジオ体操連盟)	細美 和彦 (武術太極拳連盟)
山本 巖 (テニス協会)	水上 勇 (空手道協会)	山本 堅二 (バレーボール協会)
村松 良昭 (バスケットボール協会)	大石 修司 (バドミントン協会)	鳥居 幸雄 (グラウンドゴルフ協会)
山崎 清治 (バレーボール協会)	矢部 静夫 (アーチェリー協会)	岡 三夫 (ユニホック協会)
		大原 一夫 (中学校体育連盟)



財団法人静岡市体育協会
前会長 宗 知信

「感謝の気持」をこめて

本当にお世話になりました。振り返れば県職員を退職し、静岡英和女学院の校長、理事長になったばかりの昭和54年の春、前会長の鳥羽国松さん（野球連盟会長）が亡くなられ、突然、私に市会長という話が持ちこまれました。当時、県体協の副会長で、ラグビー協会に関りがあったとはいえ、唐突な要請でした。丁度、静岡新聞社より海外派遣教育視察団の団長を委嘱され、準備に忙殺されていた時でしたが、私にとっては定年のない不可思議な人生の始まりとなりました。

在任25年間の原動力の第一は、静岡市の歴代の市長、市議会、そして市の職員の方々のお力添えです。時代の要請を適確に判断され、力を与えて下さった市関係者に心からお礼を申し上げるものです。第二は、競技団体の皆さん方にご尽力をいただいたことです。長い年月が過ぎ、私が会長をお受けした頃の方々（特に役員）はすっかり入れ替わられ、鬼籍に入られた方も多くなりました。多くの方々のお蔭で市体協は、発展し続けてきたと確信しております。

顧みる時、やはり市制百周年の折に財団法人の認証を得たことが、最も忘れられないことといえます。会長就任にあたり将来構想として、競技力向上と組織の強化、併せて財団法人化を重要施策の三本柱としました。中でも市体協発展構想の基盤は、法人化に尽きると考えました。数億円が

必要となる基本財産を如何に準備するかが大きな課題となりましたが、市当局の英断により実現できましたことは、何度思い起こしても感謝の気持で満つところでは、市当局をはじめとする多くの方々のご理解とご支援により、静岡市体協は全国でも異色の組織団体として、着実な歩みをつづけることができました。特に小嶋市長が「スポーツは市民と共に生きる」行政でいこうと思いついて施設管理、スポーツ教室、国際交流の面で市体協へ全面的に委託する姿勢を打ち出されたことが、今日の体協発展の基盤確立の要因となったといえます。

さて、このたび私が退任を決意したのは、一つは私の年齢のこと。そして、特に静岡・清水両体協が合併することについて協議を重ねた結果、来年政令都市移管と共に、「一つの体協」となることをお互いに確認できたからです。これからは、各競技団体が相互に歩み寄り、新しい組織として成長発展の道を歩まれることを心から期待しています。スポーツは文化であると言います。それはスポーツの素晴らしさを心身で感じるとき、人に感動をもたらし、生きる喜びを見出し与えるからであります。新しい政令都市静岡の未来への成熟を期するとき、スポーツの普及・振興は必須の課題であります。ここに春秋に富み、俊秀なる川村会長のもと市体協が確かな前進を限りなく続けられることを心から祈っております。

「静岡市体育協会広報誌」の歴史



1号 昭和40年3月発行

広報誌名『静岡市体協』で、4ページにわたり、功労者の表彰、スポーツ少年団員募集、共催事業の紹介等を掲載。白黒でB5サイズ。



7号 昭和56年9月発行

昭和43年発行の6号以来休刊を続けていた『静岡市体協』が、『躍動』と広報誌名を変えて復刊。



25号 平成元年10月発行

静岡市体育協会が財団法人として新たに出発した年。「法人化へのあゆみ」等を掲載。今号からコート紙になり、表紙もカラーとなる。



38号 平成10年10月発行

平成9年に静岡市体育協会が創立50周年を迎え、記念事業を掲載。毎年行なわれる市民ウォーキング大会も、この記念事業から始まる。今号からオールカラーになる。



42号 平成12年10月発行

『躍動』から『YAKUDOU』へとロゴが変わり、B5からA4にサイズも大きくなる。

※現在は3月・9月の年2回発行しております。

はじめに「越し道を 振り返りけり 峠茶屋」

私と市体協との関係は、昭和45年4月1日付にて静岡市体育保健課長と常務理事に就任したことによるものである。6年間の在任中は、スポーツ振興に全力投球した。その陰には、既に鬼籍に入った松嶋昭人氏や片井久雄氏等の優秀な職員が支援してくれたからで、多くの仕事ができたとと思う。課長は普通3年程度での異動が慣例であったが、6年もの在任は特例中でその理由は、文部省の補助金・起債が無ければ温水プール・少年自然の家・駿府公園野球場・庭球場・学校夜間照明等の事業ができないという理由からであった。当時の課長の仕事は、学校体育、学校保健、交通安全、学校給食、社会体育と極めて広範囲であった。このため教育委員会の機構改革（昭和49年6月1日）の機会に所管を市民スポーツのみの「体育課」とし、他は学校教育課に移管し、今のスポーツ振興課原型となった。

1. 体協会則・規程の改変

常務理事として最初に手掛けた仕事は、表彰規程（昭和39年9月3日制定）に新しく「優秀指導者表彰」を加えたことである。（昭和46年1月4日） この表彰は現在も続けられ、多くの優秀な指導者に賞が与えられていて嬉しい限りである。また、専門的な意見の集約ということで専門委員会の設置を提案、理事会にて承認された。（昭和47年3月25日）

2. スポーツ振興審議会の設置

昭和36年6月16日公布のスポーツ振興法に市町村では任意設置である「スポーツ振興審議会」について、市民スポーツ普及の時代の趨勢から設置の必要を昭和47年9月の本会議にて体協副会長川原市議が質問、荻野市長、佐藤教育長がこれを認め、翌年2月議会で条例が議会を通過し、昭和48年4月、15人の委員により審議会が発足できた。

3. 西ヶ谷陸上競技場

西ヶ谷の公認陸上競技場の建設には、次のような経過があったので書き留める。昭和46年5月8日、今の中央体育館が刑務所跡地に開館し、体育館前は駐車場と、更に1周200メートルのトラックができ、市民のジョギング等に活用されていたが、市民文化会館建設に伴い広場が無くなることになった。このことで荻野市長が課長の私を呼び、体育協会が反対運動を起こさないようにと釘をさされた。その代わりに静大跡地に300メートルの陸上競技場を考えてみるからと言う話であった。このことを鳥羽国松会長と杉山竹

次郎陸上競技協会会長に伝え、理事会で反対しないことにし、市民文化会館と地下駐車場が建設された。

その後、静大跡地が建設省の城北公園としての国庫補助事業となり、多目的な芝生広場で、陸上競技場は図面より消えてしまった。その代案で動物園の上の土地を検討されたが道路等から断念、その後、静岡県での高校総合体育大会の開催が決まり、「66総体」と呼称して市に事務局が設置された。（昭和天皇崩御で平3総体となる。）

陸上競技は草薙競技場で、その陸上競技の投てきのハンマー投げは、危険防止のため草薙以外の実施となり、静岡市では懸案の競技場建設を急ぎ、建設場所を西ヶ谷に決め、全天候の競技場が建設された。（公認第3種、公認日時は、平成3年6月2日）陸上競技場について、熱意をもっていた杉山竹次郎陸上競技協会会長は完成を見ず、昭和62年1月13日逝去された。先生が逝去され今年は17年謹んでご冥福を祈る私である。

4. 市民の健康のため

各学区のスポーツ活動にと「学校開放」で、家庭婦人のバレーボールの体育館使用を始めた。ところが、ある日荻野市長に呼ばれ「学校の電気料がバレーのため多額で困るから善処するように」と、そこで私は、家庭婦人が健康で家庭が明るくなる事業で、全市の学校数で割ればそんなに気にする額ではないと持論を述べた。市長もこれに同意され事業が継続された。今でも夜、学校の体育館が明るくなっているのを見ると、荻野市長の政治家としての広い度量が思い出され、故人になった荻野市長のご冥福を祈る次第である。

5. 心技体の旗

市民本位の体育館の竣工に伴い、体育館の旗を荻野市長に相談した。市長は、当時相撲道の言葉をあげられ、ご自分で「心 技 体」をペンで書かれた。後日、色をオレンジとし市長に書いて頂き、開館式で掲揚することができた。これも懐かしい思い出である。



昭和57年まで副会長を務められ、現在顧問。

加盟団体紹介

静岡市バレーボール協会

会長 永田 武夫

静岡市バレーボール協会は、昭和27年4月に結成発足以来、50年以上の歴史を持ち、平成16年度においては200チーム以上の参加をいただき、大会の運営等を実施しています。

全日本女子バレーボールチームのオリンピック出場などで、バレーボールブームの再来が期待されています。当協会としては親しみやすく年齢・性別を問わず誰もが比較的簡単に参加することが出来るバレーボールを目指し、年4回開催のソフトバレーボール（男女混合4人制）を突破口に競技人口の増加を推進しております。

平成16年度より市内小学生チームの連絡を密にし、指導者のレベルアップ講習、情報交換等を進めながら、小学生の頃から楽しめるバレーボールの普及活動を推進していく予定です。

また、市民各体育館で開催されています(財)静岡市体育協会主催の、小学生・女性バレーボール教室への指導員の派遣など、精力的に普及活動を実施しています。

バレーボールに興味をお持ちの方は、お気軽に市バレーボール協会事務局までご連絡ください。



ソフト・バレー、メンス全国大会

静岡市野球連盟

会長 太田 義郎

『野球』というと世界的には硬式野球を指し、軟式野球は日本独自の競技ですが、全国では約57,000チーム、100万人余の登録があり、他の種目と比べても決して引けを取らない競技人口を有しています。

さて、静岡市野球連盟は、戦後間もない昭和21年に創立、現在133チーム、約3,000人が加盟登録し活動しています。チームメートとのひとときを楽しみに大会に参加するといったチームもありますが、トップチームの試合ともなると、プロ野球にも負けない息詰まる接戦が繰り広げられます。本連盟にも、昨年の静岡国体軟式野球競技一般Aにおいて、準優勝の成績を収めた『静岡ガス野球部』が所属しており、全国一を目指して練

習に励んでいます。

皆さんも、日曜日の河川敷で野球を楽しんでみませんか。



第2回静岡市民軟式野球大会 開会式

特集!! アテネオリンピック



みず とり ひさ し
体操 水鳥寿思 選手

【プロフィール】

- ◆1980年 7月22日生 (24歳) ◆血液型: A型
- ◆身長: 172cm ◆体重: 62kg
- ◆出身校: 日本体育大学

静岡市立安西小学校5年の時、静岡県ジュニア大会(小学生の部)で優勝し頭角を現し、市立末広中学校3年で静岡県ジュニアチャンピオンとなる。岡山関西高校に進学し、全国高校選抜大会で準優勝、日本体育大学に入学し、3年の時に日本代表としてユニバーシアード大会に出場、団体総合2位、個人鉄棒8位の成績を残す。4年では、全日本大学生大会2位、NHK杯大会4位となり、アジア大会に日本代表として出場し、団体総合3位、個人総合5位の成績を残し卒業。NEW!!わかふじ国体には、静岡県選手として参加し、大会を盛り上げる原動力として活躍。本年度は5月のオリンピック最終予選となるNHK杯大会で3位に入賞し、見事代表の座を獲得。

以上が主な経歴であるが、その間、高校2年の時に右膝半月板損傷、大学1年に右大腿骨骨折、4年では全日本静岡大会で左膝十字靭帯断裂と、3度の選手生命の危機を強い精神力で乗り越え、常識では考えられない代表入りを果たした。このことは静岡市の体操関係者に大きな夢と希望を与えてくれた。



わた なべ ゆ か
馬術 渡辺祐香 選手

【プロフィール】

- ◆1967年 8月26日生 (37歳) ◆血液型: A型
- ◆身長: 150cm ◆体重: 43kg
- ◆出身校: 東海大学

静岡市生まれ。3歳から乗馬を始める。13歳の時に、現在のつま恋乗馬倶楽部顧問・桜井義長氏(バルセロナオリンピック馬場馬術競技出場)と出会い、本格的に馬術を始める。18歳の時に鳥取国体少年障害飛越競技で個人優勝。その後の国体でも入賞多数。95~96年には、JRAホースショーグランプリ決勝にて2年連続優勝を果たし、全日本障害大障害、中障害共に優勝経験をもつ。

その後単身ドイツに渡り、シドニーオリンピック金メダリストであるオット・ベッカー氏の指導を受け、ヨーロッパにて数々の国際競技に入賞。昨年行なわれた静岡国体では、自身も選手として出場しながら静岡県チームの監督を務め、史上最高得点での国体優勝に導く。現在もドイツを中心とし、ヨーロッパで活躍中。今年のネーションズカップでは、オーストリア・リンツ大会で第7位に、ポーランド・ポツナン大会では第5位に入賞。ヤマハつま恋乗馬倶楽部所属。アテネオリンピックでコンビを組むのは、昨年10月からの新パートナー、ナイキ号。

静岡市から選出されたオリンピック代表選手を紹介



なが た むつ こ
バスケットボール **永田睦子** 選手

【プロフィール】

- ◆1976年 9月26日生 (27歳) ◆血液型：O型
- ◆身長：178cm ◆体重：73kg
- ◆出身校：長崎県純心女子高等学校

長崎県西有家町立西有家小学校でバスケットボールと出会い、西有家中学校を卒業後、長崎市の純心女子高等学校へ入学しバスケットボール部で活躍する。卒業後、シャンソン化粧品バスケットボールチームの一員となり、同年日本リーグで新人王を獲得、1996年アトランタオリンピック日本代表選手として出場する。また、1998年のアジア大会優勝メンバーでもある。

1999年第1回Wリーグから5年連続得点王であり、日本を代表する天才スコアラーとして活躍中で、シャンソン不動のエースであり、日本代表でのポジションはパワーフォワードである。ジャンプシュートが得意とし、パワーとスピードを兼ね備えたドライブイン、そして圧倒的なリバウンドの強さと技術は、WリーグでのMVPをはじめとした輝かしい個人記録でも証明されている。紛れもなく日本最高レベルのプレイヤーである。



え ぐち ま き
バスケットボール **江口真紀** 選手

【プロフィール】

- ◆1978年10月14日生 (25歳) ◆血液型：A型
- ◆身長：184cm ◆体重：73kg
- ◆出身校：熊本県九州女学院高等学校

熊本県水俣市立水俣第二中学校でバスケットボールをはじめ、九州女学院高等学校（現ルーテル学院）へ入学、熊本県高校総体では3位の成績を収めている。高校卒業後、三洋電機、日立戸塚のバスケットボールチームへと入部するが、相次ぐ休部により移籍を余儀なくされ、2002年より現在のシャンソン化粧品バスケットボールチームの一員となった。そして、移籍3年目で日本代表に選出される。

第3回Wリーグでは得点ランキング5位など、長身を活かしてのリバウンドの強さとポストプレーが高く評価されている。ポジションはセンターで、シャンソンでもインサイドには欠かせない選手となっている。2003年第5回Wリーグ準優勝メンバーであり、持ち前の明るさとガッツで代表チームに貢献する。

夜間スポーツ教室紹介

静岡市剣道連盟 会長 佐藤 淳

剣道教室

市民各体育館で開催している剣道教室では、週2回稽古をしています。剣道は、子供と大人、男子と女子と一緒に稽古できる武道ですが、初心者と経験者では指導内容が異なるため、三部に分けています。南部体育館では、一部は初めて剣道を学ぶ小学一年生から大人までが、剣道の基本を習います。二部は小学生、三部は中学生以上が、剣道防具を着け竹刀で互いに打ち込む稽古をします。一部で稽古を始め、竹刀の振り方も不慣れだった初心者が、二部、三部に進み、稽古を積み重ねる間に自信が生まれ、剣道の姿がかたちになってきます。



居合道教室



居合道は、剣道、杖道とは違って相手がいません。仮想の敵を相手に稽古します。正座、立膝、立業の三種類の構成からなっており、始めは正座からで、ゆっくりの動きから早い動きに、力強い抜付、切り下ろし、ゆったりとした納刀と、いろいろと変化に富んでおり、始めたら面白く感じると思います。中高年齢の男性、女性の方でも十分にできます。特に女性の方は姿勢が良くなり、美容、健康に良いといわれ、近年女性の参加が多くなりました。ぜひ一度、居合道教室の方に足を運んでみて下さい。

杖道教室

杖道とは、古歌に「突けば槍、持たば太刀、杖はかくにも外れざりけり」とある通り、槍、薙刀、太刀の長所を取り入れた、突き、払い、打ちを左右等しく使うのが特色の武道です。杖道教室では、主に全剣連杖道制定形（昭和43年に約430年余の歴史をもつ杖術、棒術の数多い組形の中から選んだもので、国内はもとより外国でも稽古されている）を指導員の下で、自分の体の調子に合わせ、老若男女を問わず稽古をすることが出来ます。



	剣道教室	居合道教室	杖道教室
中央体育館	水・金 18:30~20:45	月・木 18:30~20:45	日 18:30~20:45
南部体育館	火・土 18:00~20:45		
長田体育館	火・土 18:30~20:45	金 18:30~20:45	
東部体育館	水・金 18:30~20:45	火 18:30~20:45	
北部体育館	水・金 18:00~20:45	月・金 18:30~20:45	水 18:30~20:45

※長田の居合道教室は、居合道杖道教室

新加盟団体紹介

静岡市ユニホック協会

会長 岡 三夫

『ユニホック』とは、スウェーデンが発祥の室内ホッケーの事で、昭和58年に教育委員会より、子供から大人まで誰でも楽しめる『生涯スポーツ』として紹介されてから、全学区に道具一式が配布され、普及が始まりました。静岡市ユニホック協会は、平成4年に設立し、現在は34チームが登録されており、年間を通してのリーグ戦や、小学生、シニア大会等も行っています。静岡市では男女混成の部が主流であり、夫婦や親子で参加している方も多くいます。

全国大会も行われ、静岡市のチームも好成績を収めている中、いよいよ今年の11月に、全国選手権が静岡市で開催されます。本協会としても全国大会を成功させようと、忙しくなってきました。

静岡市で開催されるからには「ぜひ優勝を」と、練習にも熱が入っています。

誰にでも、すぐにできる『ユニホック』をあなたも、一度やってみませんか？



静岡市民ウォーキング大会

平成16年5月30日(日)開催

今年度の市民ウォーキング大会は市内を離れ、田方郡函南町の函南原生林周辺で行われました。函南原生林は江戸時代からこの地域の農民が禁伐林として立入を厳しく制限しており、現在でも団体での入山に関しては事前の許可が必要な森林です。その原生林内はケヤキやヒメシャラなどの高木が主要木で、中でも樹齢約700年のアカガシやブナの巨樹は、雄強かつ優艶で参加者を圧倒させました。巨樹を見学し、原生林を抜け、約30分歩くと原生の森公園へ到着しました。原生林に隣接している原生の森公園には、遊歩道や池、芝生広場があり、ここで参加者は昼食をとり、午後のウォーキングに備え、英気を養いました。

昼食後は、国の指定史跡である山中城跡を目指し、約1時間舗道、砂利道と歩きました。参加者は土の芸術と称される山中城跡を短い時間でしか見学し、最終ポイントの山中城跡駐車場へ向かいました。

当日は、天候悪化が懸念されましたが、衣服を濡らすことなく、参加者全員が無事に帰ってくることができました。



スポーツ指導者資質向上講習会

平成16年2月27日開催

スポーツの普及振興は老若男女を問わず、目覚ましい発展を遂げています。また、スポーツの競技力は日進月歩進化を遂げ、その向上は目を見張るばかりです。そこで、スポーツ技術の更なる向上を目指し、最新のスポーツ科学について、体育協会所属の各競技団体指導者を対象に、学ぶ機会を持ちました。講師に、中京大学体育学部体育学科の湯浅景元教授を迎え、『一流選手に学ぶスポーツ上達法』をテーマに講義が行なわれました。湯浅教授は、医学博士・体育学修士で、書籍も多数出版されており、「NHKテレビのサンデースポーツ」などに出演、生活に生かすスポーツ科学の考え方や実践の仕方など、広範囲で活躍されております。

受講者からは、「トレーニング方法も日々変化している。参考になることが多かった。」「時間が短く感じるほど楽しく参考になる講義であった。」等の意見が寄せられ大好評であり、再度湯浅教授の講義を聞きたいとの要望が多数ありました。それに応え、今年度も講師に湯浅教授を迎える予定です。



中京大 湯浅景元教授による講習会

競技力向上事業

種目別実技講習会

ジュニア層育成



馬術



アマチュアダンススポーツ

社会生活が大きく変化する中で、子供たちは体を動かすことよりも、コンピューターを利用した遊びに夢中になり、家庭への閉じこもり傾向が見られるようになってきました。また、少子化の傾向が一層進み、小・中学生が必要とするスポーツ活動も次第に減少しています。

そこで、より多くの小・中学生を対象に、スポーツがいかに楽しいものであるか体験を通して伝え、ジュニア層の拡大と育成を目指すことを目的に、平成14年度から当協会の競技力向上事業の一つとして「種目別実技講習会」を開催しています。



バスケットボール

平成15年度には馬術、バスケットボール、アマチュアダンススポーツ、武術太極拳、スケートの5種目の講習会が行われ好評のうちに終了しました。

有度山総合公園運動施設

ターゲットバード・グラウンドゴルフ場紹介

平成16年6月26日、ターゲットバードゴルフ場とグラウンドゴルフ場が有度山総合公園運動施設内にオープンしました。その他施設内には、自然の緑に囲まれた10面のテニスコートと充実した設備のクラブハウスもございます。多くのお客様のご来場をお待ちしています。

■電車・バスをご利用の場合

JR東静岡駅南口から静鉄バス日本平動物園行きに乗り「動物園入口」下車徒歩15分（1.6km）

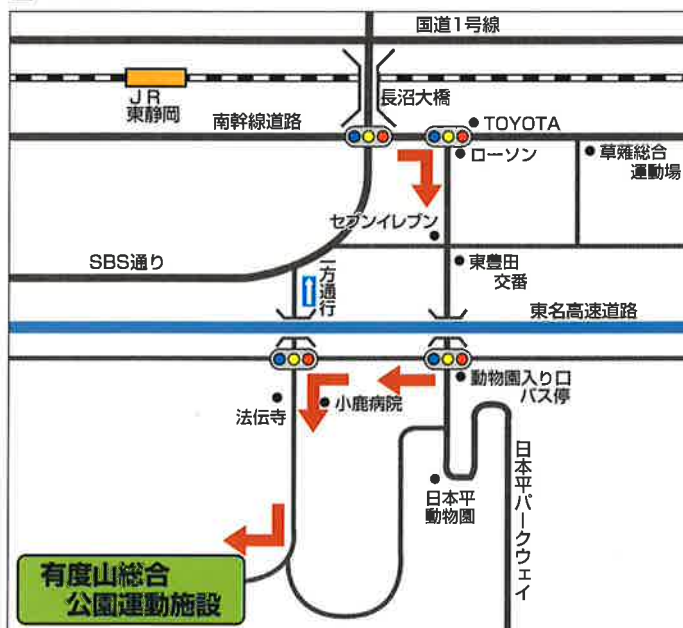
■自動車をご利用の場合

国道1号線から長沼大橋を渡り、南幹線を左折し、すぐの信号を右折。直進して東名高速道路の下をくぐり直近の信号で右折。東名高速道路と平行に進み、次の信号を左折。しばらく直進すると右側に「有度山総合公園運動施設」の看板が見える。

■駐車場のご案内

87台収容（うちバス4台）

■周辺案内図



ターゲットバードゴルフ場

1コース 9ホール
4,000㎡



グラウンドゴルフ場

1コース 9ホール
4,000㎡



- 【施設概要】 所在地：静岡市小鹿1883-4 電話番号：054-264-2722 休場日：毎週月曜日・12月29日～1月3日
利用時間：半日9:00～12:45・13:15～17:00 全日9:00～17:00（占有のみ）
- 【利用料金】 ※ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフそれぞれ
個人利用 半日500円（15歳未満250円）
占有利用 半日7,630円（15歳未満5,730円） 全日15,260円（15歳未満11,460円）
- 【貸出器具 使用料】 ※半日
ターゲットバードゴルフ…クラブ1本100円・スイングマット1枚50円・羽球1個50円
グラウンドゴルフ…スティック1本100円・ボール1個50円

第34回静岡市スポーツ少年団大会

平成16年3月14日(日)に静岡市スポーツ少年団大会が西ヶ谷総合運動場で行われました。晴天の中、26団716人の団員が、日ごろ培った体力とチームワークでリレー等の競技を行い、種目の枠を越えて広く団員の交流を深めました。

また、大会開会式において、県スポーツ少年団指導者協議会優秀指導者表彰と市スポーツ少年団優秀団員表彰及び優秀指導者表彰が行われました。



ソフト・バレーボール大会参加者募集

4人1組(男子2名・女子2名)で楽しいバレーボールを始めませんか。

大会日程

平成16年 9月20日 中央体育館

平成16年12月23日 中央体育館

平成17年 3月21日 北部体育館

問合せ先 静岡市バレーボール協会 事務局

電話090-8323-7871 (山崎清治まで)



第5回(第11回)マクドナルドカップ静岡県ジュニア軟式野球大会

県内各地の予選を勝ち抜いた精鋭16チームにより、県下No.1を目指した熱戦が繰り広げられます。皆様のご声援をお願いいたします。

期日：平成16年10月10日・16日(雨天順延)

会場：静岡市西ヶ谷総合運動場野球場 ほか

静岡市野球連盟

会長 太田 義郎 副会長 小澤喜久雄
理事長 松永 昌一 副理事長 瀧川 進吾

【事務所】静岡市宮ヶ崎町28-2 マツナガスports内 TEL・FAX 054-245-2635

編集後記

連日のオリンピック放送、夜遅くまで日本人選手団の活躍に目が離せず眠い目をこすりながら仕事をする日が続きました。静岡市出身の水鳥選手、体操男子団体総合28年ぶりの金メダルの獲得、本当に拍手喝采です。金16個、銀9個、銅12個と、メダル獲得数も最多を記録しました。

記念号編集のため、多岐にわたる情報の収集整理に戸惑いました。

皆様ご協力誠にありがとうございました。

調査広報委員 山崎清治

YAKUDOU 50

第50号

編集・発行

(財)静岡市体育協会

〒420-0856 静岡市駿府町2番80号

TEL (054)273-1788

FAX (054)273-1917

市体協ホームページ <http://www.shizuoka-sports.or.jp>